



木高通信

～誠実 は 光 な り き～

令和7年度 11月号

青森県立木造高等学校

課題研究

◎3年次流通ビジネス系列

ご当地アクリルキーホルダー考案

ガチャ販売でつがる市の魅力発信！

流通ビジネス系列の課題研究の授業で、アクリルキーホルダー作りに挑んだ。メンバーは34HRの木村虎汰朗さん、木村夕芽さん、埤見歩希さん、滝吉未空さん。つがる市をPRし盛り上げるために考案したキーホルダーは10種類。観光名所やグルメ、また木高生と校章など。さらに、つがる市マスコットキャラクターつがるちゃん、遮光器土偶のオリジナルキャラクターカメちゃんその他シークレット1種を含む6種類。この企画は、生徒たちが弘前市のアサヒ印刷がご当地カプセルトイ事業を展開していることを知り会社訪問したことで実現した。企画書の作成から、写真・デザイン使用や販売機設置の許可交渉も行い、またキーホルダーの組み立てやカプセル封入にも携わった。ガチャ設定場所は、木造駅、道の駅もりたアーストッ、つがる市農産物直売所、イオンモールつがる柏店の木高ラボ。

1個500円で絶賛発売中！
目指せコンプリート！！

つがる市の魅力を詰め合わせ アクリルキーホルダー



つがる市の愛されキャラクター



◎つがる市ファン獲得大作戦 withキャンパスラボ



ATVニュースで放映

●参加メンバー

工藤颯太さん(33HR) 岡田玲乃さん(11HR)
寺山小梅さん(33HR) 葛西琴音さん(11HR)
鈴木 耀さん(14HR) 清野翔楓さん(14HR)

「いろんな作品がある中で、どれも良い作品だが、多くの人に知ってもらえればうれしい。(木造高校生賞は)いろんな人に魅力を発信できると思う」
33HR工藤颯太さん



若者の視点から地域の魅力を発信するため、木造高校の生徒と首都圏在住の女子大学生のグループ「キャンパスラボ」が協力し、『新解釈つがる辞典』の制作をつがる市の企画により2021年からはじめました。この取り組みでは、「つがる」という言葉に新たな解釈を加えて動詞に変換します。そして数多く動詞化して『新解釈つがる辞典』と称しました。2024年までで50の動詞化がなされ今年度はその50作品の選考会が行われました。

<木造高校生賞>

動詞「つがる」＝「他人の善意に甘える」
津軽地域で自宅で獲れた野菜や果物をおすそ分けで貰う風習を踏まえて、こういう意味を持つ言葉として考案されました。

◎1年次インターンシップ



働く人にふれ、労働を体験することにより職業理解を深め、将来に向けての職業観を養うという目的のもと、11月26・27日の2日間でインターンシップが行われました。1年次全員137名がそれぞれの実習先で働きました。つがる市をはじめ、五所川原市や周辺地域の50の企業・団体にお世話になりました。



只今
旅行中

◎2年次修学旅行 11/24～28・4泊5日



京都・奈良・大阪の関西方面！出発日は朝早い6時発。移動日だが大阪城を見学しました。2日目は終日USJ。3日目は選択で伊勢神宮コースと奈良公園コースとに分かれました。4日目は京都市内の班別自主研修。最終日は京都御所を見学し帰途につきます。



ここで3日目の引率団手記を紹介します。伊勢神宮では、バスガイドさんの説明を聞き、真剣な様子で参拝。お昼ご飯は、てこね寿司と伊勢うどんを食べました。混雑して歩いて歩けないよ！と聞いていた「おかげ横丁」でしたが、今日は不思議と空いていて食べ歩きだったり、お土産購入だったり、みんな満喫していた様子。我々も加賀谷先生のガイドで五十鈴川を眺めながら、赤福を食べました。幸せの味でした。夕方には、清水寺で全体写真を撮り、おかべ家ですき焼きを食べました。時間がなくてバタバタでしたが、男子はご飯をモリモリおかわりしていて、まだまだ元気そうです。



～11月に実施した主な行事など～

- 6日 後期生徒大会
- 19日 PTA研修会
(津軽金山焼でピザ焼き体験)
- 17～20日 2学期期末考査

